

「しかし神が！！」

～神があなたと共に！！～

創世記39：1-3、40：23
41：1・14、50：20

「露と落ち 露と消えにし我が身かな 浪速のことは夢のまた夢」天下を極めた秀吉はこんな言葉を残しました。死を知らないとその死に対して本当に平安を得ていないと人生はただの悲しみでしかありません。諦めでしかありません。恐れて恐れて全てを手にしても命すら延ばすことができません。みなさんはやりたかった事をできていますか？あなたの余命があと1ヶ月といわれたらあなたは どうしますか？あなたの葬儀はどんな葬儀になるのでしょうか？考えてみてください。思い返してみてください。あなたの願ったような葬儀になるのでしょうか？クリスチャンの人生とはたとえ今日死んでも明日死んでも大丈夫、悔いの無い生き方を毎日しなければなりません。「その日その日の労苦は十分にある。」その道に歩んで生きましょう。

■ EASTER

ヨセフは、12人の兄弟の下から2番目で、兄弟の中でもお父さんから特別扱いを受けるほど特に愛される存在でした。そんなヨセフは夢を見ました、それはお兄さん達の東が自分のところに来てお辞儀をする、またお兄さん達の月が自分のところに来てお辞儀をするそんな夢でした。当時年齢はともて大事でそこには主従関係がありました。ヨセフから見た夢の話を書いた兄達は憤慨しヨセフを嫌いました。兄達はヨセフを殺そうとしました。しかし1人の兄が殺してはいけないと言ったので、ヨセフを穴に落としました。そこへ奴隷を買う商人が通りかかるとその商人にヨセフを売りました。ヨセフはお金で売られ、エジプトへ行き、パロの侍従長のポテファロの元で、僕として働きとても愛されました。なぜ彼は愛されたのでしょうか。ヨセフの記事を読む時に「主が共におられた」と聖書に何度も記されています。創世記の39章には摂理の中で【人生の痛み】が描かれています。40章は【苦難は最大】に進んで行きます。ポテファロの妻は美しいヨセフを誘惑し、その事に正しく振舞ったヨセフに対して主人の妻は自分の服を引き裂きヨセフに襲われたのだと、ヨセフを悪者にしました。ヨセフは何の罪もありませんでしたが、王の牢屋に7年間も投獄されました。しかしヨセフは牢屋の中でさえも皆に愛されました。彼のすることに文句をいう者は一人もいなかったと書いてあります。ヨセフは正しく振舞い続けました。ある日、献酌官と料理人に対して夢を解き明かしてあげました。ヨセフは献酌官と約束しました。罪の無い事を証明してくれる事を。しかし、献酌官はその約束を忘れました、裏切ったのです。悲劇からの救出を待ちわびていたヨセフの希望は閉ざされ、2年の年月が流れてしまいました。しかしヨセフは「主と共にいる」事を忘れませんでした。

～以下を各3個ずつ書き出して見ましょう～関西大学生死学より

- ① 形のある大切なもの、
- ② あなたの大切にしているアクティビティ（行動）
- ③ 大切な人
- ④ 形の無い大切なもの

書き出したものの中で、あなたが死に向かっていく時に一つずついらないものを消してください。自分が死に向かっていく中で動けなくなり、人の認識も出来なくなった時に残る大切なものは何でしょうか？クリスチャンにとって形の無い大切なものそれは「信仰・希望・愛」です。死んだ後に神様のところに帰るといふ信仰、そしてこの人生を次の人に引き継ぐという信仰があります。そしてそれを信じる事のできる希望があります。そして愛です。自分が神様から愛されたように人を愛そうとします。死に対してある学生が言いました。死とは私からひとつひとつ奪うんだ。しかしクリスチャンはこう言います。神様にひとつ一つ返すんだ。「人はこの地に裸で生まれ、裸で帰ろう。」裸で生まれた人が、主にだんだん着せられて、主と共にいるから榮えていって、そしてひとつ一つ主の元に返していって天国に帰る、クリスチャンの人生とはそういうものです。

■ しかし神が！！～神があなたと共に！！～

なぜこんなこと！と思う出来事を通して、クリスチャンは自分を責めなくてもいいのです。神様は私に何をしようとしているのか？これは苦学ではありません。しかし起きる前より起きた後のほうが変わる事ができるのです。創世記50章、ヨセフの兄達がヨセフのところに来ました。牢屋に投獄される前のヨセフは知恵がありませんでしたが、9年後牢屋から出たヨセフはもう兄達の前で夢の話を知恵が無く話すようなヨセフではありませんでした。彼は投獄されている期間を通して神様と共にいる事を学びました。この結果、彼の人生は変わりました。ヨセフの兄達がヨセフの前に来た時、彼は裏で泣きました。なぜゆえに泣いたのでしょうか？それはその後のヨセフの行動からわかります。ヨセフは、兄達を赦しました。神様はヨセフの人生にとことん赦す事を教えました。神様はどうして赦す事を教えたのでしょうか？神様がヨセフと共にいて、神様がヨセフを赦してヨセフと共にいる事をずっとされたからです。私達の人生においても神と共にいるということは赦すことなのです。なぜなら愛するということだからです。愛する事と赦す事はひとつです。ヨセフが神様から30年かけて学んだ事は「寛容である」ということでした。失敗もしましたがそこでベストチョイスを選ぼうとしました。【申命記31：5～8】申命記31：8「あなた」の部分にあなたの名前を入れて下さい。あなたの人生で神様はこれを誓われたので必ずそうなります！神様がアブラハムにした「私がおあなたを助ける」という誓いをヨセフは生涯信じてきました。神様が絶対私の足の踏むところを祝福される。と。

悪魔はあなたを偽り、悪魔はあなたを破壊し、悪魔はあなたを死に至らしめます。あなたの心の中に2つの姿があってあなたの心に語りかけてくるのです。正しい決断をしようとする時に誘惑してきます。あなたが道を外すように偽ってきます。だからそれに負けないで下さい。神様はあなたに必ず真実を伝えます。悪魔はそんなあなたを壊そうとします。人間関係、友人、家族、あなた自身…そう破壊者なのです。神様はどんなに破壊されようとも再建ができるお方です。神殿を壊し3日で建てることができると言われました。その約束を信じどんな事が起きても再建することを信じましょう！今日この時からたとえ悲劇が起きたとしても私は騙されない！私は壊されない！私は死なない！と決断して生きましょう。「もうやめた！」「あきらめた！」これが失望という死です。しかし神様はあなたの人生を再建することができます！失敗した時が大事です。その時にヨセフのようにベストを選びましょう

■ ① イースターに生きる～偽り、破壊、死から 真理、再建、命へ

「忠実」とは失敗した時に戻ることです。失敗するな、などと聖書は言っていない、失敗した時に戻ることを聖書は伝えています。これに忠実であれと言っているのです。忠実とはいかなる時も目を離さずイエス様と一緒にいることなのです。主と共にいることこそが忠実です。どうか神様を小さく押し込めないで下さい。例え環境を変えても何も変わりません、変えるべきは私達の行動です。それをする為、一歩静まらなければなりません。ヨセフは環境を変えようとしませんでした。その中で行動を変えたのです。牢屋にいる時、ポテファロのところにいる時、兄達に再会した時、全ての権限をもっても羞恥をしませんでした。

■ ② ベストチョイスを～環境ではなく行動～

悪の計らいが押し寄せてきます。悪の言葉を多く聞くでしょう。真実かどうかはわかりません。しかしそのような声が聞こえてきます。しかしクリスチャンは悪く言われたら喜んでください。「私の名のゆえに迫害されるものは幸いである」と聖書に書いてあります。いい事しようとする時は悪く言われるものです。それでも表で生きようとするのがクリスチャンです。裏を殺して生きようとするのです。神様はあなたのいる場所にリバイバルを起こそうとしておられます。あなたがいる場所が変わるのです。なんとかあなたを用いて祝福したいと願っておられます。死に至るまで忠実である為に神様と共に歩んでいかなければなりません。あなたの人生で、苦しいとき、辛い時、悲しい時、怒りそうになった時、あらゆる時に、主を待っていて下さい。聖書には絶対出てきます。「しかし神が！！」神様は私達の人生に生きて働かれるお方です。あなたの人生がいつ終わってもいいように用意してください。今日を生きて下さい。どんな事があっても「しかし神が！！」を感じていきましよう。

■ ③ 悪の計らいが良い計らいへ

なぜこんなこと！と思う出来事を通して、クリスチャンは自分を責めなくてもいいのです。神様は私に何をしようとしているのか？これは苦学ではありません。しかし起きる前より起きた後のほうが変わる事ができるのです。創世記50章、ヨセフの兄達がヨセフのところに来ました。牢屋に投獄される前のヨセフは知恵がありませんでしたが、9年後牢屋から出たヨセフはもう兄達の前で夢の話を知恵が無く話すようなヨセフではありませんでした。彼は投獄されている期間を通して神様と共にいる事を学びました。この結果、彼の人生は変わりました。ヨセフの兄達がヨセフの前に来た時、彼は裏で泣きました。なぜゆえに泣いたのでしょうか？それはその後のヨセフの行動からわかります。ヨセフは、兄達を赦しました。神様はヨセフの人生にとことん赦す事を教えました。神様はどうして赦す事を教えたのでしょうか？神様がヨセフと共にいて、神様がヨセフを赦してヨセフと共にいる事をずっとされたからです。私達の人生においても神と共にいるということは赦すことなのです。なぜなら愛するということだからです。愛する事と赦す事はひとつです。ヨセフが神様から30年かけて学んだ事は「寛容である」ということでした。失敗もしましたがそこでベストチョイスを選ぼうとしました。【申命記31：5～8】申命記31：8「あなた」の部分にあなたの名前を入れて下さい。あなたの人生で神様はこれを誓われたので必ずそうなります！神様がアブラハムにした「私がおあなたを助ける」という誓いをヨセフは生涯信じてきました。神様が絶対私の足の踏むところを祝福される。と。

(要約者:富岡 牧)

(2018年4月15日)